

スバル・インプレッサ/WRX No.17
チューニング&ドレスアップ徹底ガイド

**HYPER
REV**

ニューズムック
[ハイパーレブ]
車種別チューニング&
ドレスアップ徹底ガイドシリーズ

vol.257

2021年12月12日発行

IMPREZZA WRX No.17

SCOOP! デビュー直前
新型WRXはこうなる



チューンドカーの
実力チェック!
サーキット
インプレッション!

速さと楽しさに上限なし!
スバルAWDスポーツの愉しみ

全国のプロショップが提案
最新チューニングメニュー

トータルバランスに自信あり
注目チューンド
セレクション



高機能と美しさで彩る
SPORTS WHEEL
GALLERY

話題のアイテムの魅力に迫る
チューニングパーツSelection

掲載総数
1600点オーバー
チューニング&
ドレスアップカタログ



STRADIAⅢをベースにホールド性を強化フルバケットシートも驚愕のニューモデル!

GIASⅢ [ガイアスⅢ]

新世代型リクライニングシートとして高い人気を誇るSTRADIAをベースに、スポーツ走行に求められるホールド性をさらに高めたのがGIASシリーズだ。その最新モデルとなる2021年の晩秋にリリースを予定のGIASⅢでは、腿部に加え肩部も専用形状となるフルバケットシートに匹敵するシェル形状を獲得することに成功しているのだ。

3D-CAD解析・設計のボーンフレームと刷新されたシェル構造はSTRADIAⅢと同様。座面に設けられている5・6点式ハーネス用のベルトホールは、GIASⅢ(右)ではベルトの動きを抑えるために縮小された。(写真は試作品)



Hyper Rev Selection

憧れの逸品に迫る!



BRIDE

☎ブリッド ☎052-689-2611 <https://bride-jp.com/>

最新スポーツシート VAB/VAGマッキングレポ

信頼の高性能スポーツシートを試す!

チューニング&カスタムのファーストステップにもなりつつあるシート交換。自分の好みや走るシチュエーション、さらには体型にフィットしたシートを選ぶことは充実したカーライフのために欠かすことのできない大切なポイントなのである。

そんなシート交換を目指すひとにとって憧れのブランドといえばブリッド。創業以来、常に進化を続け、メイドインジャパンが可能にする高性能かつ高品質なスポーツシートの数々はホールド性や快適性はもちろんだが、安全性にも大きなこだわりを持っているのはご存知の通りだ。

さて、そんな憧れのブリッド製シートだが幅広いラインアップを誇るがゆえ、どのモデルを選べば良いのが悩んでしまうひとも多いだろう。そこ

剛性、強度、快適性をさらに進化させた新世代のアクティブコンフォートモデル



レーシーなヘッドガードを装備したストリート対応のレーシングモデル



XERO VS

[ゼロ・VS]

価格：11万円～16万8300円

全身を包み込むラウンド(猫背)形状のバックレスト形状と、高速での横Gから頭部をホールドするヘッドガードを採用した新世代のレーシングフルバケットシートXERO。そのシリーズに新たに加わったVSは、コンパクトなヘッドガードで車内空間に制約のある車種にも対応させたモデルとなっている。

シートポジション 純正比最大約-40mm

推奨シートレール FOタイプ

背中はまっすぐ寝かせ気味の形状。アイポイントは最も低い。CSよりハンドルの左オフセットはやわらか。車内での干渉もなし。乗り降りもしやすい。

STRADIAⅢ [ストラディアⅢ]

価格：20万3500円～26万4000円

サーキット走行にも対応するホールド性能と、ストリートでの利便性を高次元で両立させた人気モデルがSTRADIA。昨秋登場した最新モデルのⅢでは、3D-CAD解析・設計のボーンフレームと刷新されたシェル構造により、従来モデルに比べて耐荷重強度200%、ねじれ強度40%向上。リクライニング機構も剛性、強度、操作性を高めた新設計のレバータイプを採用している。



シートポジション 純正比最大約-40mm

推奨シートレール ROタイプ

低い着座位置(ZETAVとほぼ同じ高さ)が得られ、新しいリクライニングデバイスにより、バックラッシュ(遊び)も限りなくゼロに近い。サイドサポートが低く、乗り降りしやすい。



シートポジション 純正比最大約-40mm
推奨シートレール FOタイプ

こちら背中もまっすぐ寝かせ気味。着座位置はCS、VSよりわずかに高い。ハンドルの左オフセットはCSよりやわらく。乗り降りがしやすい。

数々の勝利とドライバーの安全を支えてきた定番フルバケットモデルの最新バージョン

ZETA IV [ジータIV]

価格：10万6700円～16万5000円

日本人の平均身長と体重に合わせてデザインされた、ブリッドを代表する定番フルバケットシートがZETA。16年ぶりのフルモデルチェンジとなった最新のZETAでは新たにローマックスシステムの採用のほか、シェル剛性の向上が図られている。またシェル形状の見直しやクッション素材の変更で、これまで以上のフィット感と快適性の向上も実現しているのだ。

安心・安全を追求して 全モデルに抗菌加工を追加!

昨年から続く新型コロナウイルスの蔓延により、世界的に抗菌への意識が高まりをみせているのはご存知の通り。そんな情勢に対応すべく、ブリッドでは業界初の試みとしてスポーツシートの全モデルに7月1日から人体に無害なプラチナを使用した専用液による抗菌・脱臭処理を追加。メンテナンス用のDr.BRIDEを半年に1回を目安に塗布することで効果が持続する。オゾン除菌脱臭器「エアバスター」も併用すれば、車内全体の安心・安全はさらに高まるぞ。



エアバスター・ホータブル
BRIDEエディション
価格：4万4000円

Dr.BRIDE
価格：3300円



中型ヘッドガードを装備した 本格派フルバケットシート



シートポジション 純正比最大約-40mm
推奨シートレール FOタイプ

背中の上部分が起きる形状でハンドルが近く、理想のドラポジが得やすい。ホールド性も断トツだが、スライド位置によってシートベルトアンカーにヘッドガードが干渉するので注意。

XERO CS [ゼロ・CS]

価格：11万円～16万8300円

XERO CSは中型のヘッドガードを装備した車検対応モデルで、競技やスポーツ走行にも最適。腰まわりや、大腿部を深く包み込むようなデザインは、しっかりとしたホールド感を生み出し、ニーサポートの内側にキルティング加工を施した生地を採用することで、フィット感や座り心地も向上。耐久レースのような長時間のドライビングであっても疲れにくく、高い集中力を保ったままの走行が可能となる。

で、今回は4タイプのブリッド現行モデルを試してみることにした。
まず、タイムアタックやレースなど本格的にサーキットを走り込むならXERO CSが最も適しているだろう。抜群のホールド性はもとより、背中に体重を預けられる形状ながらも背中の上部分が起きるようになっていて、ヘルメット後部のクリアランスが

得やすく、VA系のステアリング位置はやや左にオフセットしているが、ステアリングも近くなるので理想のドラポジが取りやすいのが嬉しい。
ただし、シートスライドを後ろに下げていくとBピラーの純正シートベルトアンカーにヘッドガードが当たるため、そのあたりのチェックは必須。ドアには干渉しないので、スライド位置さえ問題なければ装着可能だ。
XERO VSとZETA IVは乗り降りしがやすく、背中もまっすぐ寝かせ気味の形状なのでリラックスしてのドライブが楽しめるはず。フルバケットタイプでは比較的ストリートでの快適性も高いと人気のシートでハンドルの左オフセットもやわらぎ、10mm程度になる。
さらにリクライニング機構付きのSTRADIA IIIは座面にベルトホールが備わって、5&6点式ハーネスが使えるようになり、剛性アップやリクライニングデバイスの進化もあって、サーキット性能が格段にアップした。ZETA IVと同じ着座位置が得られ、リクライニング機構で、状況ごとにドラポジを変えられるなど、今回のテストでは群を抜く守備範囲。前作のSTRADIA IIより

長距離での耐疲労度も明らかに向上している。
そしてなんといつても注目したいのが、2021年の晩秋に発売開始予定となっている注目のニューアイテム「G-IAS III」だろう。こちらは快適性や使いやすさを維持したまま、ホールド性を大幅強化した新世代モデルとなっている。
高品質と高性能、さ



安心の3年保証&車検対応
高品質シートレールにも注目!
BRIDEスーパーシートレールは保安基準適合モデルなので、BRIDEシートとの組み合わせであれば車検時にも追加の証明書や申請など不要。その重要部品であるスライダーは、世界最大手機構部品メーカー・フォルシア社(フランス)から調達しているBRIDE専用部品で、アッパーレール厚2.0ミリ、ローレール厚2.3ミリというスペック。左右両側でロックされガタツキが無く、高強度で耐久性に優れており、10ミリピッチ刻みの前後スライド量220ミリ仕様になっているのだ。

純正シート

乗降性は抜群で、ホールド性も頑張っているが、着座位置が高い。長距離では背中や腰のあたりが疲れやすい傾向にあるようだ。重量面でもバケットに換えたときのメリットは大きいだろう。